芦屋市環境処理センター

長期包括的運営業務

技術提案書

【様式１３】

技術提案書　記載要領

下記に示す記載要領に従って技術提案書様式に記載し，芦屋市へ提出すること。また，必要に応じて記載内容の根拠となる資料を添付すること。

# 様式の記載方法等について

■ 用紙は，別紙様式の事業収支計画書のみA4ヨコまたはA3ヨコとし，それ以外はA4タテの両面（長編綴じ）を基本とすること。

■ A4タテでは記載が困難な場合はA3ヨコとしても構わないが，A4の大きさに折って綴じ込むこと。なお，その場合はA3片面で2ページ分とみなす。

■ 書式について，フォントの大きさは10.5ポイント以上とする。

■ 作成に当たっては，優秀提案者決定基準に記載の項目順序に従って記載すること。

■ ページ番号を付番すること。

■ 各節ごとにインデックスをつけること。

# 提出について（業務概要書記載要領に同じ）

■ 提出方法　下記提出先まで郵送又はご持参ください。（郵送の場合は必着）

■ 提出部数

(1) 企画提案書（技術提案書・業務概要書）　正本1部，副本20部

※正本は押印があるもの。

(2) CDによる電子媒体　2部

（技術提案書のデータと業務概要書のデータを同じCDに格納して提出することも可能とする。）

※電子データの形式で保存したもの。なお，電子データ形式は次のいずれかで表示，印刷できるものとする。

・Microsoft PowerPoint　　　・Microsoft Word

・Microsoft Excel　　　　　 ・Adobe Reader(PDF)

■ 提出期限　令和2年11月2日（月）午後5時まで

■ 提出先　　〒659-0032　芦屋市浜風町31番1号

TEL：0797-32-5391

FAX：0797-22-1599

# 留意事項（業務概要書記載要領に同じ）

各様式の記載にあたっては，応募者が直接的に特定できるような記述は行わないこと。

提案内容については，本審査のヒアリングにおいて内容を再度確認するものとする。その際に回答内容に食い違いがある場合は，評価において補正を行う場合がある。

なお，当該提案内容は技術提案書に提示した予定金額（上限額）の範囲で提供されるものとし，追加費用は認めない。

# 企業評価

### 企業能力

#### 履行保証力

自己資本比率を記載すること。（小数点第1位まで）また，その根拠を確認できる資料（貸借対照表（写），純資産及び総資産が分かる資料等）を添付すること。

＜自己資本比率＞

|  |  |
| --- | --- |
| 自己資本比率 | ％ |

#### 業務実績（同種・類似業務の受注実績）

直近5年間の同種・類似業務（焼却施設における，複数年契約の包括的運営管理委託業務）の受注実績について，受注した年度が新しいものから3件まで記載すること。また，その根拠を確認できる資料（契約書，履行実績届）を添付すること。

＜同種・類似業務の受注実績＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 施設名称 |  |
| 施設所在地 |  |
| 委託者 |  |
| 受託者 |  |
| 契約締結日 | 年　　月　　日 |
| 契約期間 | 年　　月　～　　　年　　月 |
| 施設規模及び炉数 |  |
| 2 | 施設名称 |  |
| 施設所在地 |  |
| 委託者 |  |
| 受託者 |  |
| 契約締結日 | 年　　月　　日 |
| 契約期間 | 年　　月　～　　　年　　月 |
| 施設規模及び炉数 |  |
| 3 | 施設名称 |  |
| 施設所在地 |  |
| 委託者 |  |
| 受託者 |  |
| 契約締結日 | 年　　月　　日 |
| 契約期間 | 年　　月　～　　　年　　月 |
| 施設規模及び炉数 |  |

### 地域貢献度

#### 営業の拠点

本店の所在地について記載すること。また，その根拠を確認できる資料を添付すること。

＜本店の所在地＞

|  |  |
| --- | --- |
| 本店の所在地（どちらかに○） | 芦屋市内である場合，住所を記載 |
| 芦屋市内　・　芦屋市以外 |  |

#### 業務実績（芦屋市との契約実績）

芦屋市との契約実績について，受注した年度が新しいものから3件まで記載すること。また，その根拠を確認できる資料（契約書，履行実績届）を添付すること。（直近5年間）

＜芦屋市との契約実績＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 業務名称 |  |
| 業務の概要 |  |
| 受託日（契約締結日） | 年　　月　　日 |
| 契約期間 | 年　　月　～　　　年　　月 |
| 2 | 業務名称 |  |
| 業務の概要 |  |
| 受託日（契約締結日） | 年　　月　　日 |
| 契約期間 | 年　　月　～　　　年　　月 |
| 3 | 業務名称 |  |
| 業務の概要 |  |
| 受託日（契約締結日） | 年　　月　　日 |
| 契約期間 | 年　　月　～　　　年　　月 |

* 業務内容は問わない。

### 社会性

#### 企業年金制度

企業年金制度について記載すること。また，その根拠を確認できる資料を添付すること。

＜企業年金制度の有無＞

|  |  |
| --- | --- |
| 企業年金制度の有無  （どちらかに○） | 有　・　無 |

#### 障がい者雇用状況

障がい者雇用状況（現況）について記載すること。また，その根拠を確認できる資料（最新の障害者雇用状況報告書（写））を添付すること。

＜障がい者雇用状況＞

|  |  |
| --- | --- |
| 障がい者雇用（現況）の有無  （どちらかに○） | 有　・　無 |

#### 男女共同参画推進の取組

男女共同参画推進の取組について記載すること。また，その根拠を確認できる資料を添付すること。

＜男女共同参画推進の取組の有無＞

|  |  |
| --- | --- |
| 男女共同参画推進の取組の有無  （どちらかに○） | 有　・　無 |
| ＜該当する制度等＞  ・育児・介護休業　　　　　　・子供を持つ従業員向け時短制度  ・中途退職女性復帰制度　　　・その他（　　　　　　　　　　） | |

#### 女性活躍推進の取組

女性活躍推進の取組について記載すること。また，その根拠を確認できる資料（基準適合一般事業主認定通知書（写））を添付すること。

＜えるぼし認定取得の有無＞

|  |  |
| --- | --- |
| えるぼし認定取得の有無  （どちらかに○） | 有　・　無 |

#### 子育てサポートの取組

子育てサポートの取組について記載すること。また，その根拠を確認できる資料（基準適合一般事業主認定通知書（写））を添付すること。

＜くるみん認定取得の有無＞

|  |  |
| --- | --- |
| くるみん認定取得の有無  （どちらかに○） | 有　・　無 |

#### 若者雇用推進の取組

若者雇用推進の取組について記載すること。また，その根拠を確認できる資料（基準適合一般事業主認定通知書（写））を添付すること。

＜ユースエール認定取得の有無＞

|  |  |
| --- | --- |
| ユースエール認定取得の有無  （どちらかに○） | 有　・　無 |

# 提案内容評価

## 本件業務対象範囲共通

### 事業計画

#### 事業収支計画

本件業務における事業収支計画及び用役費等の内訳について，別紙様式（エクセル）で示すこと。

#### 人員配置計画

配置予定の有資格者の経験年数等を以下の表に記載すること。また，人員配置の考え方と人数及び根拠について記載すること。（自由記載）

##### 廃棄物処理施設技術管理者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### 第三種電気主任技術者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### 第一種電気工事士

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### 低圧電気取扱業務特別教育受講者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### クレーン運転業務特別教育修了証保持者（5トン未満）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### 第二種酸素欠乏危険作業主任者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### 危険物取扱者（乙種四類）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### 特定化学物質等作業主任者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

##### ダイオキシン類ばく露防止作業指揮者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する会社 | 資格取得年月 | 勤務経験年数 | 経験した施設の規模 |
|  | 年　　月 | 年 | t/24h×　炉 |

|  |
| --- |
| 人員配置の考え方，人数，根拠についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

### 運営計画

#### 従業員教育

従業員教育の方法，内容及び技術力アップの方法，内容について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 従業員教育の方法，内容及び技術力アップの方法，内容についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜従業員教育の方法，内容＞  ＜技術力アップの方法，内容＞ |

#### セルフモニタリング

セルフモニタリングの方法，頻度について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| セルフモニタリングの方法，頻度についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

### 運転計画

#### 適正運転等

焼却施設及びパイプライン施設の適正かつ効率的な運転について，経験等を根拠とした工夫等を記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 焼却施設及びパイプライン施設の運転手法についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜焼却施設の運転手法＞  ＜パイプライン施設の運転手法＞ |

#### 二酸化炭素排出の削減

二酸化炭素排出の削減を目的とした電気，ガス，燃料等の省エネの手法について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 二酸化炭素排出の削減を目的とした省エネの手法についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

### リスク対応

#### 非常時の対応

非常時における体制（企業としてのバックアップ体制を含む）及び連絡網の確保について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 非常時における体制及び連絡網の確保についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜非常時における体制＞  ＜連絡網の確保＞ |

#### リスクの想定及び対処

想定しているリスクとその対応策（保険の加入，事業継続計画を含む）について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 想定しているリスクとその対応策についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜想定しているリスク＞  ＜対応策＞ |

### 環境保全計画

#### 環境保全基準の遵守

要監視基準値及び運転基準値の設定と，水銀の排出基準遵守のための制御（遠隔手動運転）の考え方について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 要監視基準値及び運転基準値の設定，水銀の排出基準遵守のための制御の考え方についての提案（A4タテ2枚以内） |
| ＜要監視基準値及び運転基準値の設定の考え方＞   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 項目 | 単位 | 運転基準値 | | | 要監視基準値 | | | 基準値 | 基準値を遵守するための運転方法等 | 基準値を超えたときの運転方法等 | 基準値 | 基準値を超えたときの運転方法等 | | ばいじん | g/N㎥ |  |  |  |  |  | | 硫黄酸化物 | ppm |  |  |  |  |  | | 塩化水素 | ppm |  |  |  |  |  | | 窒素酸化物 | ppm |  |  |  |  |  | | 一酸化炭素 | ppm |  |  |  |  |  | | ダイオキシン類 | ng-TEQ/N㎥ |  |  |  |  |  | | 全水銀 | μg/N㎥ |  |  |  |  |  |   ■：受託者の提案する値，運転基準値を遵守するため，超えたとき及び要監視基準値を超えたときの運転方法を記載すること。  ＜特に，水銀の排出基準遵守のための運転方法について＞  記入については，別紙を参照のこと。 |

#### 環境計測

環境計測の方法，頻度について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 環境計測の方法，頻度についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

### その他

#### 施設のイメージアップ

現場での市民対応における基本的考え方及び応対の方法，本件業務対象範囲の美観の確保等について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 現場での市民対応における基本的考え方及び応対の方法，本件業務対象範囲の美観の確保等についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜現場での市民対応における基本的考え方及び応対の方法＞  ＜本件業務対象範囲の美観の確保等の考え方＞ |

#### 清掃・消防設備の点検等に関する考え方

清掃，植栽の管理，警備，電気設備・空調・衛生設備・消防設備等の点検業務に関する姿勢，方法，頻度等について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 清掃，植栽の管理，警備，電気設備・空調・衛生設備・消防設備等の  点検業務に関する姿勢，方法，頻度等についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

#### 施設周辺環境への貢献等

施設周辺地域への貢献について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 施設周辺地域への貢献についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

#### 場内の安全管理

場内の安全管理について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 場内の安全管理についての提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

#### 独自提案

審査項目以外で，応募者の独自提案について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 独自提案（A4タテ1枚以内） |
|  |

## 焼却施設

### 維持・補修

焼却施設の基本性能維持を目的とした9年間における日常の維持・管理及び大規模修繕について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 施設の基本性能維持，日常の維持・管理及び大規模修繕についての提案（A4タテ2枚以内） |
| ＜補修内容（対象設備等）＞  ＜補修の実施時期＞ |

### 処理不適物等への対応

処理不適物（特に水銀）等について，混入の確認方法，事前除去の方法，不適正排出防止に関する啓発の方法等について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 処理不適物（特に水銀）等への対応方法等についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜混入の確認方法＞  ＜事前除去の方法＞  ＜不適正排出防止に関する啓発の方法＞ |

### 不燃物処理施設との業務連携

すべてのごみの受け入れをごみ焼却施設の運転管理業務として行う中で，不燃物処理施設とのごみ受け入れの可否判断の連携等についてごみ処理作業の円滑化を図るため，施設間の連絡方法等について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 不燃物処理施設との連絡及び対応についての提案（A4タテ1枚以内） |
| 例）受付担当者と不燃物処理施設の担当者が，ヘッドセットを用いた無線連絡で常に連絡を取りあえる体制とする等 |

### 炉の稼働日程

炉の稼働計画及び停止期間におけるメンテナンスの実施等について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 炉の稼働計画及び停止期間におけるメンテナンス等についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜炉の稼働計画＞  ＜停止期間におけるメンテナンス等＞ |

## パイプライン施設

### 維持・補修

日々の点検や補修の考え方及び業務終了時の施設引き渡し対する考え方について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| パイプライン施設の基本性能維持を目的とした日々の点検や補修の考え方及びパイプライン  施設の運用期間を見据えた維持・管理の考え方についての提案（A4タテ2枚以内） |
| ＜日々の点検や補修の考え方＞  ＜運用期間を見据えた維持・管理の考え方＞ |

### トラブル処理

パイプラインにおいて「詰まり」が発生した際の，住民からの問合せに対する対応方法や，対応するための体制について記載すること。（自由記載）

|  |
| --- |
| 「詰まり」が発生した際の対応方法及び体制についての提案（A4タテ1枚以内） |
| ＜対応方法＞  ＜体制＞ |

【別紙】（参考）2.5環境保全計画　(1) 環境保全基準の遵守　要監視基準値及び運転基準値の設定の考え方　記入例

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 操作  方法 | 連続  測定機  最小  目盛 | 物質 | | 運転基準値 | | | 要監視基準値 | | 公害  防止  協定値 | 各種法  規制値 |
| 基準値 | 基準値を遵守するための  運転方法等 | 基準値を超えたときの  運転方法等 | 基準値 | 基準値を超えたときの  運転方法等 |
| 維持 管理 | 0.000001 | ばいじん | g/N㎥ | 0.001 | ・バグフィルターの温度管理，日常の維持管理，休炉時の点検で確認 | ・バグフィルターの穴あきの恐れがあるので，焼却炉を停止 | 0.01 | ・バグフィルターの穴あきの恐れがあるので，焼却炉を停止 | 0.02 | 0.08 |
| 自動 | 0.01 | 硫黄酸化物 | ppm | 10 | ・濃度分析計の測定値で消石灰を噴霧 15kg/h | ・濃度分析計の測定値で消石灰の噴霧量を増やす。 | 18 | ・自動を手動に切替え，消石灰の噴霧量を増やす。 | 20 | 150 |
| 自動 | 0.01 | 塩化水素 | ppm | 10 | ・濃度分析計の測定値で消石灰を噴霧 15kg/h | ・濃度分析計の測定値で消石灰の噴霧量を増やす。 | 22 | ・自動を手動に切替え，噴霧量を増やす。 | 25 | 430 |
| 自動 | 0.01 | 窒素酸化物 | ppm | 45 | ・濃度分析計の測定値でアンモニアを噴霧  0～1.3㎥/h | ・濃度分析計の測定値でアンモニアの噴霧量を増やす。 | 54 | ・自動を手動に切替え，噴霧量を増やす。低下しない場合は，火格子を停止し温度を下げる。 | 60 | 250 |
| 焼却調整 遠隔操作 | 0.01 | 一酸化炭素 | ppm | 25 | ・監視画面を注視する。 | ・水分が多い場合は，燃焼段の火格子速度を上げて，ごみ状況を改善し焼却する。ごみが爆焼した時は，ＣＤＦで酸素を増やす。 | 27 | ・基準値が下がらない場合は，火格子を止める。 | － | 100 |
| － | － | ダイオキシン類 | ng-TEQ/ N㎥ | － | ・一酸化炭素に準ずる。 | ・一酸化炭素に準ずる。 | － | ・一酸化炭素に準ずる。 | － | 1.0 |
| 手動 | － | 水銀 | ㎍/N㎥ | 10 | ・活性炭を噴射　6kg/h | ・活性炭を噴射　7kg/h | 40 | ・活性炭の噴射量を増やす。 | － | 50 |
| 備考 | | | | ・各物質を低減するため，薬剤を必要以上に使用しないよう効率的な基準値を設定する。 | | | ・1時間平均値が上記の数値を超過した場合，焼却施設の監視を強化し，改善策を開始する。 | | ※1 | ※2 |

※1　1時間平均値が上記の数値を超過した場合，速やかに市に報告し，原因調査などを行い市の指示に従うこと。

※2　1時間平均値が上記の数値を超過した場合，速やかに焼却施設の運転を停止する。